

▶水辺の楽校で実施されている多摩川でのカヌー体験



平成27年第2回定例会

府中市附属機関の設置等に関する条例の
一部を改正する条例など11議案を審議

平成27年第2回市議会定例会は、6月5日から6月22日までの18日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、「府中市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例」など6件を審議した結果、可決5件、同意1件となりました。
議員提出議案は、5件を審議した結果、可決2件、否決3件となりました。
また、陳情1件が審議されました。

決 議

◎府中市議会における綱紀粛正に関する決議

今定例会で市長から、「府中市附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例」についての議案が提出されました。
この議案は、平成26年12月に施行されたまち・ひと・しごと創生法により、市町村はその区域の実情に応じた創生に関する施策の基本的な計画策定に努める必要があることから、本市における人口の現状と将来の展望を提示する人口ビジョンを策定した上で、これを踏まえた総合戦略を策定及び推進していくための協議会を設置することに伴い、所要の改正を行うものです。

人口減少の克服や地方創生を目的とする総合戦略の策定に当たっては、関係機関の意見を反映させることが重要であることから、新たに設置する協議会では学識経験者や公募市民等を委員として構成し、本市の実情を反映した計画の調査や審議等を行います。

答申を受けた後、議会への報告、パブリックコメントの実施を経て、27年度内には戦略を策定する予定です。
総務委員会で審査され、その結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定し、最終日の本会議において、総務委員会委員長から審査報告があり、審議の結果、全会一致で可決されました。

意 見 書

◎外国人の人権が十分尊重されることを求める意見書

全国の都市において、特定の国籍の外国人を排斥する趣旨の言動、いわゆるヘイトスピーチが行われるなど、外国人の人権が侵害されている事態が見受けられ、都内においても同様の事態となっている。このことは、人権が尊重され、一人一人が豊かで安心して生活できる成熟した社会を実現するためにあつてはならないことである。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、東京を訪れる外国人の数は増加することが予想され、オリンピック憲章にもある人種や宗教、性別などの差別を禁じる理念を開催都市東京においても実現しなければならず、本市においても同様である。

人 事 議 案

定例会最終日の本会議に市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

■人権擁護委員候補者

酒井 克典 氏（62歳）

定例会日誌

（次の日程で開催しました）

- 6月5日 本会議（委員会付託等）
- 8日 "（一般質問）
- 9日 "（一般質問）
- 10日 総務委員会
- 11日 文教委員会
- 12日 厚生委員会
- 15日 建設環境委員会
- 16日 基地等跡地対策特別委員会
- 17日 再開発対策特別委員会
- 18日 市庁舎建設特別委員会
- 22日 本会議（常任・特別委員会審査報告等）